

いつもの日常に寄り添い 地域に開かれた “コミュニティハブ”

○『地域』に寄り添う5つのご提案

①安心・安全に過ごせる遊び場

年齢や発達段階に応じた多様な遊びや学びの機会を提供します。

②地域の人たちと集まるソフトコンテンツ

地域の人がつながる拠点として世代を超えたにぎわい創出を目指します。

③自然を身近に感じる環境整備

建築や遊具に国産木材を使用し、木の温もりあふれる空間を提供します。

④持続可能な地域展開

地域経済の活性や市民参画を促進します。

⑤“もしも”に備える支援体制

防災センターや自治体と連携した対応体制を整備します。



事業の実施方針

施設イメージ図

保谷庁舎跡地が、これからの地域にとっての“コミュニティハブ”となることを目指し、赤ちゃんから高齢者まで、誰もが安心して集える、地域に開かれたあたたかな居場所を整備します。あそび場施設空間には国産木材をふんだんに活用し、木の香りやぬくもりに包まれる心地よい環境を実現。五感を刺激し、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、大人にとっても落ち着きと安らぎを感じられる空間を創出します。また、地域の人・企業・団体が主体的に関われる仕組みを取り入れ、愛され続ける拠点として育てていきます。さらに、災害時には市と連携して、日常と非常時の双方に対応できる施設を目指します。

※事業提案時の内容であり、今後の市との協議、設計により変更となる場合があります。